

貴重書

浮世街道
全三冊

全三冊

新編
浮世街道
卷之四

東里山人作
寫川美丸画

特別
196

国
2
154



40.8.26

ア306531



東里山人作
奇川美丸画

全部三冊

浮世街道教速解

丙子新板

横山町二丁目

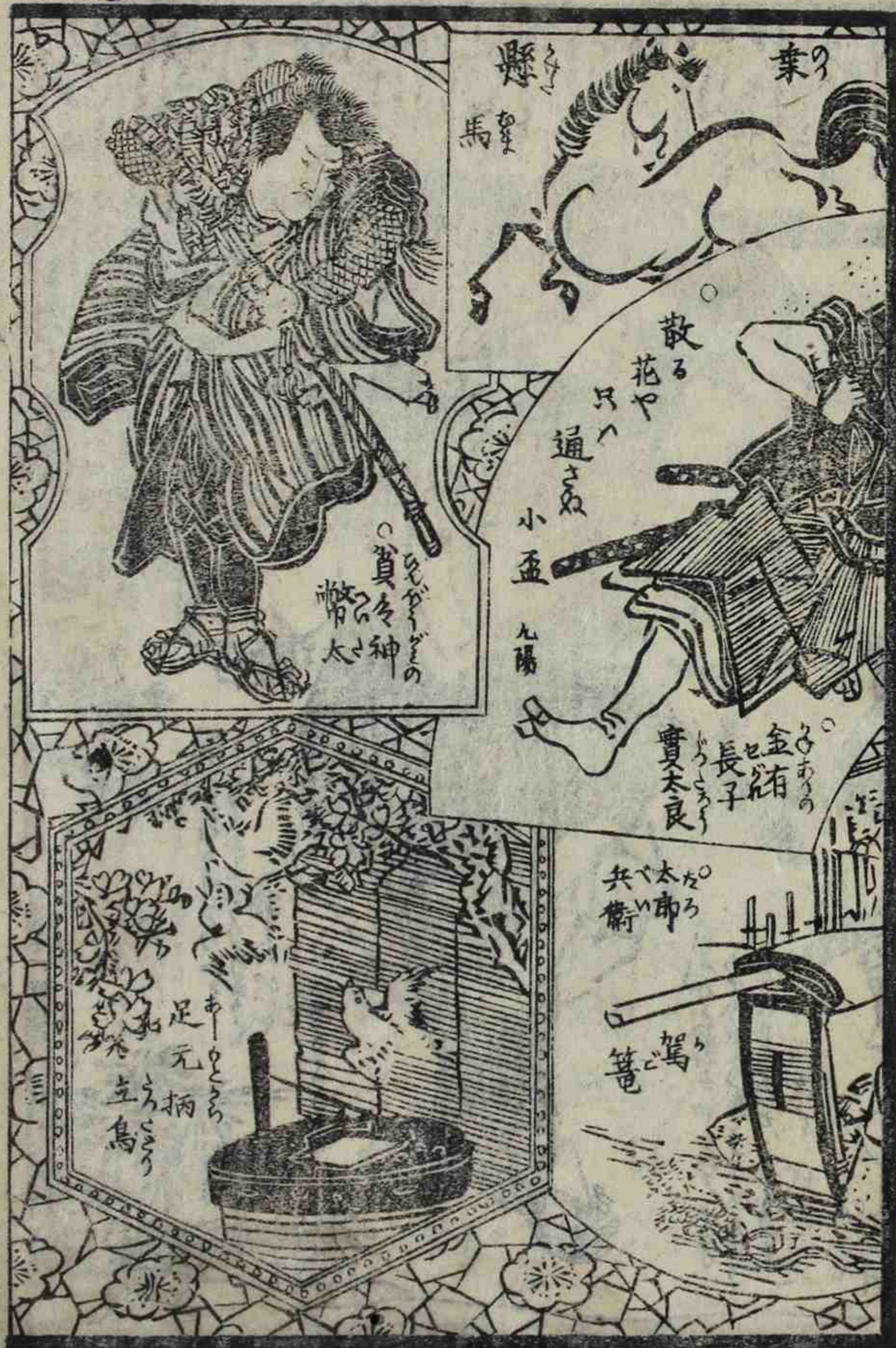
文化十三年

岩戸屋喜三郎板

浮世街道教早解序

江戸横山町二丁目
岩戸屋喜三郎梓行

色と酒や怒り復讐言と知念一生涯の張子平卒苦
 走つ彼を討是と争ひ共仇を報せんと録ものいふ必しも
 りてしりしと農工高共小は憂と解るは世俗の
 男子外尔出る別ハ七人の歌ありといふさのや年々歳々花相似る
 合巻新敵打も行雲の跡跡とみ深し根ふしとさの之も
 みの教小述く歳々年々親人同めふのや子維歳仇打及戲
 作と没け珍敷名所旧跡をえかめぬる者も教の閑道と
 題号をくらぐと書肆栄林堂於米榎を潤さんと欲するの
 丙子春取
 新繪草紙
 東里山人戲誌



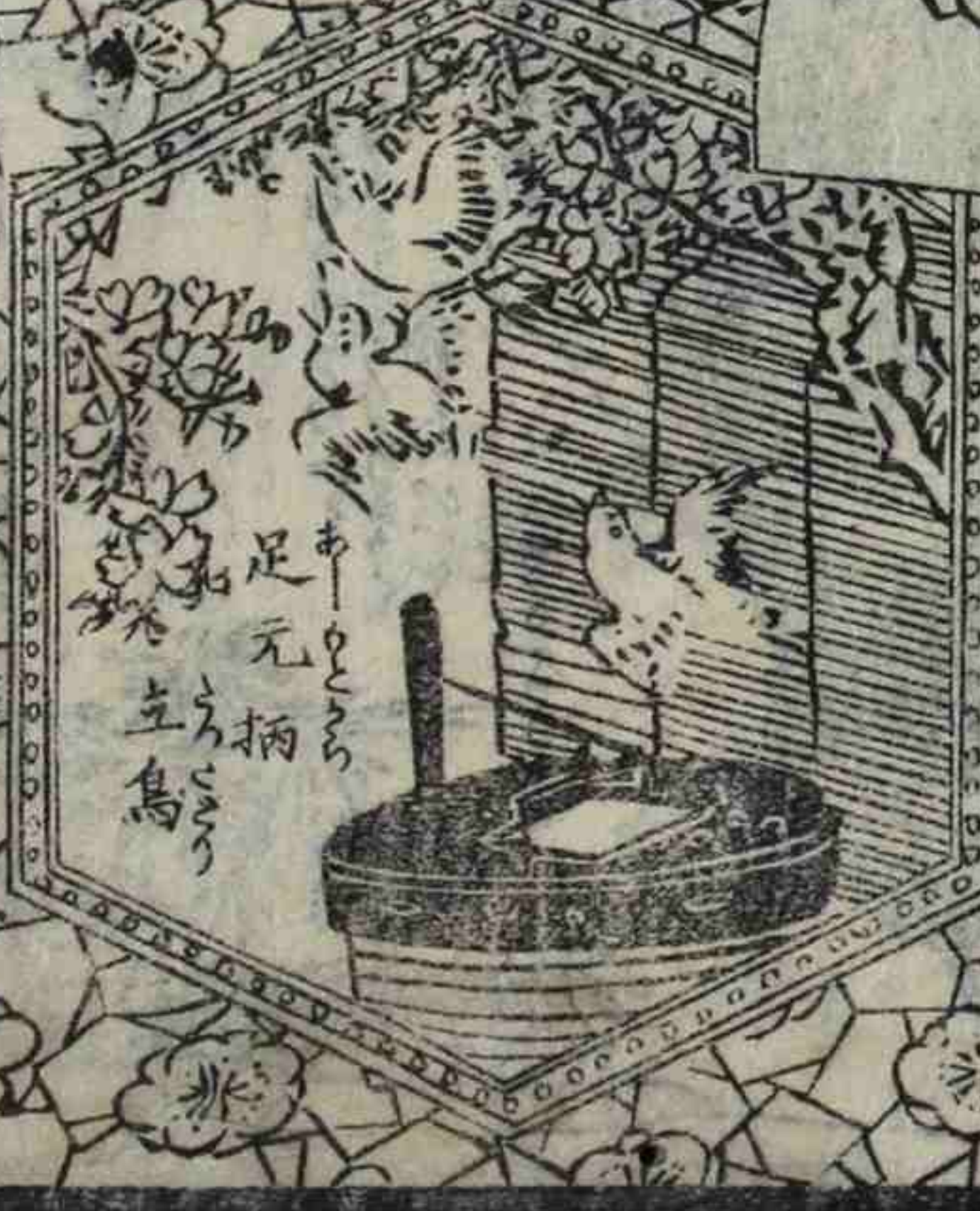
乗 馬



負多神幣大



散る 花や 通 小孟 九陽



市元柄立鳥

金子有 長子 實太良



共太郎衛 篋駕



壁

言ふるの ちのり 善の

天福長者 金有



長者妻

於富文



おのゝ塚
 此の塚は
 昔の
 名士の
 墓なり
 といふ
 事なり
 云々



茶所
 此の茶所は
 昔の
 名士の
 茶所なり
 といふ
 事なり
 云々

おのゝ塚
 此の塚は
 昔の
 名士の
 墓なり
 といふ
 事なり
 云々

此の馬は、
 神代馬の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 神代馬と
 呼ぶ。



勇

曲亭馬琴下製

故人血のたのまふり
 神女湯

極品
 精製奇心丸

右の馬は、
 神代馬の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 神代馬と
 呼ぶ。

山東京傳店

此の馬は、
 神代馬の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 神代馬と
 呼ぶ。

奇心丸の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 奇心丸と
 呼ぶ。

此の馬は、
 神代馬の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 神代馬と
 呼ぶ。

王将軍の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 王将軍と
 呼ぶ。

京山劇表

十三果あん
 味の粉の
 味の粉の
 味の粉の
 味の粉の



此の馬は、
 神代馬の
 御魂を
 宿すといふ
 故に、
 神代馬と
 呼ぶ。





Handwritten text in the upper left corner, likely a title or introductory text.

Handwritten text in the upper right corner, possibly a poem or a short story.

Handwritten text in the lower right corner, possibly a signature or a note.



Large block of handwritten text in the center of the right page, possibly a long poem or a detailed narrative.



文 化 三 丙 子 岩 新 稗 目 録

濡髪茶入 放駒掛物	松浦孝母 栄枯奇談	若菜屋若柳 浮世指之助	色と酒慾 かみきこ	大當八卦 関巻見通	古くの新板物 出末意出り 西國横山町三丁目 岩戸屋喜三郎壽梓
黄金花萬寶譜書 冊六	注文通書物語 冊五	濱細砂相續赤本 冊六	浮世街道教速解 冊三	安倍清明辻筵帖 冊二	江戸地本書物問屋
山東京傳作 柳川重信画	東里山人作 歌川美丸画	東西庵南北作 勝川春扇画	東里山人作 歌川美丸画	東里山人作 歌川國信画	

世の神の
縁ふきの
終のめ
色の仇人
さくら
さくら
さくら

東里山人作
全二冊
清明辻百草紙
全二冊
長尾流書札
全一冊
岩戸屋喜三郎

東里山人戲作
岩戸屋喜三郎
歌川美丸圖画

文
圖書
年度

文
L
3